

議会活動の在り方検討特別委員会記録

招集（開催）年月日	令和6年10月31日（木）	
招集（開催）場 所	岩美町役場 全員協議会室	
出 席 委 員	田中克美委員長、宮本純一副委員長、升井祐子委員、森田洋子委員、吉田保雄委員、田中伸吾委員、寺垣智章委員、川口耕司委員、柳正敏委員、足立義明委員、澤治樹委員（副議長）	
欠 席 委 員	なし	
議 長 の 出 席	あり	
職 務 出 席 者	中島議会事務局長	
傍 聴 者	なし	
開 会	13時00分	
記 録 者	議会事務局 宮内書記	
調 査 事 項	別紙日程表のとおり	
協 議 の 経 過		
日 程	発 言 者	内 容
開会	田中克美委員長	*起立、礼 始める。 橋本議長あいさつをお願いする。
あいさつ	橋本議長	進めてほしい。
協議事項 (1)	田中克美委員長	3番の協議事項だ。 皆さんのお手元に議員報酬改定スケジュール変更案というのをお配りしている。 当初の予定に向けて、意見交換会の呼びかけと開催を2回ほどやった。この間の取組を踏まえて、議員報酬の改定のスケジュールを変更したいということを提案して皆さんに協議をいただきたいと思う。これは事前に、中島議会事務局長も含めて正副委員長の中で議論をしてまとめたものだ。 スケジュール変更案の中にも書いてるが、10月3日、5日に意見交換会を開催した。前回報告をしたが、その他に地区の婦人会の役員の方、それから連合婦人会に対して意見交換会の開催の要請を行った。それから、老人クラブ連合会にもお話をし、1回は老人クラブ連合会の女性部の皆さんに、ぜひ意見交換会を持っていただきたいというお願いをして、もう1回は老人クラブ連合会の理事会、各クラブの会長さんなどが集まっているものだが、理事会でも同じように意見交換会の開催の要請を行った。 その中で、実は小田地区の婦人会が一度開催の日程を決めて、私の方に連絡をいただいたのだが、あいにく、ちょうど行政事務調査の期間と重なっているということで、ありがたく受け止めたのだが、改めてまた後日の開催をお願いしたいということで、残念ながら決まった日程は流れてしまったのだが、そういうことでこの間働きかけをしてきた。 それと、まちづくりの会との意見交換会、町民と議会との意見交換会の中で、いろんな団体の町民の皆さんの意見をぜひ聞いてほしいという声もあった。各団体の実態が少し分か

		ってきたというか実感できたのは、この意見交換会の報酬問題だけで会合を持つのはなかなか大変だなというのが一つある。だから役員会をするときとか何か定例の会合の際に、それに合わせてやるというような形が、各団体にとっては一番やりやすいのかなと。そのようなことも踏まえて、意見交換会そのものをもう少し期間をとって実施することがこれから先この議員報酬問題を上手に着地させるためには必要だろうなという判断に基づいて、一定期間意見交換会の期間をもって丁寧に進めていくということになると、改正条例の施行が、当初は令和7年4月1日施行を目処にということで進めてきたが、ここに提案してるようにちょうど1年先延ばしということで進めざるを得ない。 そのようにした方が、さっきも言ったように、着地がきちんとできるのではないかなと思ってこういう変更案を提案させてもらったところだ。 きょうの協議は、このスケジュール、今後の取組の予定について意見をいただいて、確認をしたいということだ。 なのでポイントから言うと、意見交換会を来年の2月いっぱいという期間をとるとということと、それから報酬審議会を来年の5月から9月にかけて、月に1回のペースで開催してもらって、答申を得るというふうにしたい。 そして条例改正が来年の12月議会、条例施行が再来年の4月1日というペースになるということだ。 ご意見をいただきたいと思う。
	足立委員	何故1年も先になるのか。以前の計画から大幅に変わっているから。ここまで伸ばさないといけない理由はあるのか。もっと早くすべきだと思うのだが。今長々と言われたがよく分からない。何故4月の頭でないといけないのか。当初予算に合わせなきゃいけないのか。
	田中克美委員長	別に合わせないといけないということは無い。
	足立委員	僕はもう少し早くしてほしい。前の計画表を我々は認めているんだから。選挙でこの10月の云々というのが変わってきただけだろう。我々は前のスケジュールを認めているんだから。そうだろう。前のスケジュールの中身を了としていて、その10月分が伸びただけだから。それをこれからして、当初に間に合わなくてももっと早い時期に。なぜ8年の4月という予定になるか分からん。前の計画を我々は了としてるのに。
	田中克美委員長	了として進めていたので、今、皆さんにお諮りしてるわけだ。
	足立委員	なら反対だ。
	田中克美委員長	反対はいいのだが、町民との意見交換の期間についてはどうか。さっき説明の中でも言ったが、各団体の実態から言うと、そうそう急かせて意見交換会が持ってもらえるという感じではないというところがある。それが一つの、...
	足立委員	各団体の実態はよく分からないが、ただ、計画通り進める案を我々は了としてきて、急遽国政選挙があつて10月の計画部分ができなかったんだろう。その部分をこれから1か月

		かけて10月の部分をするということならまだ分かる。 だけどこれ、令和8年4月1日だ。そこまで直さないといけないような案件には、そう肌で僕は感じてない。それは交渉してきた田中委員長はそう感じて、我々に提案してるんだろうけど。だけどここまで、令和8年まで伸ばす必要はない、それまでにスケジュールを詰めてでもしてほしいと僕は思う。
	澤委員（副議長）	前のスケジュールを見ると、11月が1か月間空白になっている。その部分のところに、10月の中旬以降に予定していた報酬審議会でも入れられる。 それからもう一つ、わざわざ議会運営委員会を開いて、報酬審議会の予算を急遽組んでもらった。それを無にするのか。
	田中克美委員長	残念ながら、そういう思惑通り進むという確信が持てないので。
	澤委員（副議長）	それなら議会運営委員会を開いてもらう段階でもっと議論して、報酬審議会の報酬の部分の予算を出すかどうかをしてもらった方が良かったのではないかな。もう予算は出してる。
	田中克美委員長	そう言われても、実態がそうになってないから。予算が決まったんだから予算通りやれと言われても、僕らだけが動くならいいが、対象の町民との関係があるので、だから提案してる。我々がどんどんどんどん活動すればそれで進むというのならいい。
	足立委員	田中委員長、初めに私の質問に答えて。この計画案は来年の4月1日を、再来年の4月1日に1年延ばす案でしておられるが、当初の4月の頭でなければならないのか。
	田中克美委員長	時間を取りたい、取らざるを得ないというのは、意見交換会の期間を持つということが一つ。そして、来年の3月から4月上旬、1か月ちょっとかけて、諮問案をここで議論をして決める。ここまで進んだらあとは審議会で、ここでは審議会を月1回のペースで5か月とっているが、そういうところの短縮は考えないことはない。
	足立委員	当初以外の、例えば補正では対応できるような案件じゃないということか。
	田中克美委員長	いや、そういう判断ではない。 別にその当初でないといかんということで、4月1日にしてるということじゃない。報酬審議会の、...
	足立委員	もう1年かかるということだな、要は。
	田中克美委員長	ここに出してる案は、報酬審議会の開催期間、それから答申を受けてそれを踏まえての改正条例の準備とか、そういうことに結構時間を置けるので。
	足立委員	分かった。僕はもう少し短縮してほしいという意見だ。
	田中克美委員長	スケジュール表では条例改正が来年の12月議会になっているが、これをもっと前にするということは、報酬審議会以降の段取りの運びの具合によって、それは可能だ。元々これまでの、...
	足立委員	報酬審議会が来年1年みてあるが、3月から。

	田中克美委員長	いや、その3月は我々の諮問案をまとめる期間だ。
	足立委員	僕は早くしてほしいということだ。
	澤委員（副議長）	令和5年の議会だより156号に、既にこの9月に決めたスケジュールを示されてるわけだろう。
	田中克美委員長	示した。
	澤委員（副議長）	それで、令和5年の議会だよりに既にそれが示されていて、それからもう1年以上経っている。それを今急に変更するということに対して非常に抵抗がある。
	田中克美委員長	そうしたらどうすればいいか。
	澤委員（副議長）	僕個人的にはもとの通りで進めてもらったらいいと思う。
	田中克美委員長	進め方を具体的に提案してほしい。
	澤委員（副議長）	9月10日に配付された変更前のスケジュールがあるだろう。
	田中克美委員長	そうすると、今の実態から言うと意見交換会をやらずに進めるしかない。それでもいいかということだ。
	澤委員（副議長）	だからその意見交換会を毎週してもいい。向こうにあわせて。
	田中克美委員長	実際に意見交換会の開催要請をいくつか行った。地区婦人会は網代を除いて全部やった。連合婦人会も老人クラブもやった。だけど、私の判断の甘さだったと思うのだが、受ける団体の実態が我々の「この期間設定しましたからこの期間でやってください」というふうにはならないというのがよく分かった。 しかも、何ていうか残念だったのだが、議員報酬の問題だけでやるという時間を、なかなか取れないなと思った。会長さんたち単独だったらできるだろうが、やっぱりその中のメンバーの皆さんの同意を得てやろうということになると、そうそうこちらの思惑通りにはいかないなと。だからと言ってすっ飛ばしてしまう訳にはいけないので。それで、もうやむを得ないという判断で、この意見交換会の期間を長くすると判断した。 早くやりたいのは山々だ。だから早くやるためのスケジュールで提案して、町民の皆さんにも公表してやってきたわけだ。それをどう上手くやればいいのか提案してほしい。
	澤委員（副議長）	この変更は小委員会では承認済みか。
	田中克美委員長	さっき言っただろう。正副委員長できょう提案するために案を作ったということだ。小委員会はいいい。即、この皆さんに提案してるんだから。議論してもらって。
	澤委員（副議長）	小委員会は抜きで。
	田中克美委員長	これはね。このスケジュールについてはね。
	澤委員（副議長）	なら皆から意見を聞いてほしい。
	田中克美委員長	皆から意見聞いてるから。今言われたのは、、、。
	足立委員	まあ落ち着いて。
	田中克美委員長	皆さん、どうか。
	澤委員（副議長）	皆さん言わないといけない、思ってることを。
	川口委員	スケジュールが延びたということだが、私もやっぱり町民

		の皆さんと、この報酬のことは、いろんな形の中で理解を得るというのは当然だと思っている。 前回の意見交換会でも、町民の皆さんに来ていただいたが、実態としては参加者の数があれぐらいかなと。なので、今、田中委員長提案のように、各種団体に働きかけるといふかこちらがお願いするといふのは、私は一番いい方法かなと思ったりしているので、なのでやっぱりこころは丁寧にやっていかないと、智頭などの前例もある。最終的には報酬引き上げという一つの目標があるわけなので、そこはきっちり町民の皆さんの理解を得た上で、ある程度の金額なり、いろんな意見を聞く会といふのは、やっぱり大事にしないといけなかなと思っている。 なので、このスケジュールの中で見ると来年2月までということだが、なるべくなら、いろんな各種団体の役員会なりそういう集まりを捉えていただいてその時間に我々の意見交換会ができるような時間を設定していただくといふことを、早々といふか今も話をしておられると思うのだが、その中に織り込んでいただくといふようなことができればいいかなと思っている。 その中でスケジュールを、足立委員が言われるように少しでも早くできるような形になれば、当然それもやっていただくと。だけど報酬審議会という一つのハードルを超えないといけなないので、そこはなかなか、何日までにしてくれとかといふような形はなかなか難しいと思うので、やっぱりその辺も余裕を持ちながらやっていただきたいと思う。
		※13時26分 田中伸吾委員入室
	寺垣委員	私は小委員会の委員長としてまず最初に、小委員会で議論をしていろいろと金額であったり根拠であったりを皆さんにお示しするのが遅くなってしまったので、まずそこは申し訳なかったなと思う。それがもう少し早くいっていただければこういうことにもなっていないのかなと思っているので、まずそこは反省する。 その後だが、私も川口委員と同じ考えだ。もう本当に丁寧に、町民の皆さんと意見交換といふか、議会がどういうふうを考えているか、意見交換というよりは、多分報酬に関しては、岩美町議会がこういうふうを考えておるということをお納得していただく会だと思ふので、それを丁寧にやっていくのが多分、遠回りのようで一番近道なのかなと思ったりしてるので、そこは丁寧にやっていただきたいと思う。 それと、この意見交換会が令和7年2月までになってるのだが、あくまでもこれは書いてあるだけで、その後も意見交換会はされる予定はあるのか、それはないのか。
	田中克美委員長	もうこの期間で、きっちりやりたい。
	寺垣委員	分かった。私は特に反対はしないが、確かに足立委員が言われるように早くなるならそれに越したこともないのかなと思うので、私も引き続き頑張る。以上だ。
	升井委員	最初にこれを見た時はこんなにかかるのかなと思ったが、よくよく委員長の話を聞いたら、各地区自治会9地区、数をしているだけでもすごくあるので、11月から始めて来年2

		月末というのは、それぐらいかかるかなと思った。 あと、各団体にとっては定例会の時などに一緒にするのがいいということで、こちらサイドで集まってほしいと言っても集まりにくいというところは、なるほどなと、これくらい時間がかかるかなと思った。あと縮められるといたらこの後半のところで令和7年3月から8年4月1日までの期間がもし縮められたら縮めたいなと思った。
	田中克美委員長	順番に、森田委員。
	森田委員	私も委員長の言われたことは分かるし、意見交換会が一番大事だと思っているので、丁寧にやった方がいいなと思うが、ただ、意見交換会の進め方は、多分委員長も案が難しいのではないかなと思うが、さっき升井委員が言われたように、地区ごとならたくさん会があるので、やっぱりある程度、こちらの方から打診して、そのことについてご説明したいという会、説明会じゃないがそういう形で意見交換というふうにしていかないと、2月は雪が降る時期でもあるし、いろんなことを考慮したらまた何となく、ますます集まる時期が伸びるんじゃないかなという懸念、そこをすごく感じるので、やはりこちらの方から集まる日のある程度決めて打診していくという方向の意見交換会をやっていた方がいいのではないかなと思う。
	田中克美委員長	吉田委員どうぞ。
	吉田委員	聞いていて、皆の理解を求めるのはよく分かるのだが、僕はひとまとめでもいいかなと。団体をひとまとめにまとめて意見を聞いてもいいんじゃないかなという感じを受ける。なるたけ初めに決めた目標に向かって、進めるべきだろうなというふうな考えだ。
	田中克美委員長	柳委員。
	柳委員	地区住民さんの理解が何よりも必要だというのは誰もが共通の認識だと思っている。その中で住民の声を聞くと言いながら、やっぱりこの報酬の中身については、我々しか分からないことがほとんどだと思う中で、住民さんに対しては意見の聴取というよりも、説得の場になるべきだと僕は思っている。それで、田中委員長や中島議会事務局長等々の真意も考慮する中にあって、この1年間先送りというのも分からないわけではないが、この報酬改定にあたっては、大義名分的には次の新しい人材の確保のためにということも謳ってあるのだが、実はこの議会を形成をする我々議員の活動自体がやっぱり一番重要だと思う。7万円とか8万円とか上がっているがその額はさておき、今の報酬が極めて低すぎるということをやっぱり伝えないといけないと思う。それで、これから物価高もある中で、我々議員においても、議員活動として移動の車等々の経費だとか情報収集の経費だとか、もっと言えば正装するにあたってスーツが新しく買えないみたいな、身だしなみというのも議員の活動の一つだと僕は思っているが、それよりも何よりも本来の議員活動で、一つ情報収集しようと思っても今までの1.5倍、1.8倍かかっている。皆さんお気づきの実態だと思うのだが、そういったことをクリアすべきだと思う。再来年ということになると、もう選挙

		直前ということもある。例えば次に立候補される方が、どのメンバーかは分からないが、その選挙の前にバタバタということになると本当に大丈夫かなということと、それまでにきちんとした報酬の仕組みを作っておかれるべきだと思う。田中委員長が今までいろいろ苦勞されて、これが他の町村のように不発に終わってはならんという気持ちも十分分かる。僕もそうあってはならんと思うが、議会を形成する議員の活動の保障ということから考えても、実はこれ1分1秒を争う重要案件だから。 吉田委員の意見も分かるのは、確かに個別に一つ一つの丁寧な説明も必要だが、ある程度、例えば自治会なら自治会長会としての大きな枠組、婦人会なら連合婦人会という大きな枠組、そこを最低限キープするということに捉えられても仕方がない時間制限がかかっているのかなと思っている。あとは個別で自分の議員活動の中でといった形、それから広報という手段もあるし、いろんな形で、議会が今何を考えて何のために報酬を上げないといけないかという、住民さん向けのPRができると思うが、何とか日程はできる限り早めて。この今回の最終決定版では僕は遅いと思う。田中委員長がいろんな考えをもたれて、もう仕方なくここに至ったという結果は本当に分かる。でもこれでは遅い。 次期手を挙げられる方も多分いらっしゃると思うが、そういった方が万全の体制で次に臨める体制を最低1年前から作っておかないといけないと思うし、それから、新しく議員を目指される方の確保という大義名分もある中であって、その方々が指標にできる期間があまりにも短すぎるということになる。当初何故来年の4月ということになったかという、やはり次の新しい議会を目指すという方に今議員の報酬はこういうものだということを周知するという目的もあったと思うので、そこを全て考えると、田中委員長のやむを得ない事情は分かるが、やはりきょう出されたこの日程よりも何とか半年以上は早く報酬を上げられるという結論を出されるべきだと思う。 やっぱり一つは、当初予算ということの中で、4月1日からがやっぱり新年度からというような格好がかなり大半重きをもってると思うのだが、僕は7月からでもいいと思うし、8月からでもいいと思う。7月はちょうど4年に1度の改選だが、7月でも僕は問題ないと思う。次の方の為にも半年以上はこれより早く決定されないといけないと思う。それから、今現職の我々の議員活動のためにもこの日程より半年以上は早めに決定を出されるべきだと申し上げる、大変申し訳ないのだが。
	田中克美委員長	田中伸吾委員。
	田中伸吾委員	遅参してすまない。
	田中克美委員長	きょうは、このスケジュールを変更するということに絞っての意見をお願いする。
	田中伸吾委員	僕も当初のあの計画の時期がベストなのかなと。この日程を見ると令和8年の4月というと改選の前に上げるのかと誤解を生みかねないような感じになるし、今までやってきて他

		の支援者の方に話をしても、やっぱり安いというのは言われるし、理解を得られるには、この景気が悪いときに余計いんじゃないかなと勝手に思っている。この団体にしても、小中学校のPTAや保育所の保護者さんが本当に関心があるか、集まってくださるのかどうなのかというのも考えないと、役を持ってる人だけが集まってくれるのではなくて、やっぱり大きく、そういう意見交換というか説明をする場においては、たくさんの方がおられるようにしないと、それも一苦労かかるんじゃないかなと。そういう方はやっぱり地区の方でまとめて来てもらうような格好とか、こんなにたくさんすると説明も大変じゃないかなという気はした。
	田中克美委員長	皆さん言われてる中で、やっぱり早くというのはよく分かる。私も早くやりたい。それで、寺垣委員の発言の中にもあったが、意見交換会できっちり町民の理解を得る努力というのが、急がば回れだと私も思う。そういう意味で言うと、報酬審議会開催を5か月間4回程度としているが、一番短縮可能なのはここだと思っている。要するに意見交換会で町民の理解をしっかりと得て、それに基づいた諮問案を我々がまとめて提案することができれば、審議会はその通りになると思う。議会だけの意見じゃないので。一番短縮可能なのはここかなと思っている。 それとそういう意味で言うと、その次の条例改正の準備とか、町への予算要求、ここはもう実務的なことは我々が頑張ればできる話なので、そういう意味で言うと、最初の足立委員の発言があったがこの期間は短縮できると。その一番の短縮するための条件は、意見交換会をきちんとやるということだと思っている。そこができて諮問案が作れば、この後半の流れはスムーズになる。 ただ、それを希望的観測で書くわけにはならないので、こういう期間をとった日程案になってるのだが、だからこの中で8年の4月1日に施行、...
	足立委員	まとめて。
	田中克美委員長	今まとめている。ちょっと待って。今私が受け止めを言ってるので。 それで要するに、不動のものと思わないでいただきたいということを言いたくて今言っている。改めてこの変更案について言うと、意見交換会、報酬審議会への諮問案の作成、審議会の設置と開催と、あと答申をもらって条例改正をする。それで議会で議決するという流れで、これはもう前から示してる流れだが、当然その流れは変わらないということを前提にして、今言ったように諮問案を作って以降の期間はそれまでの努力がきちんとできれば相当短縮できる。 短縮する、そのために向かって努力する、活動するということで、基本の流れを令和8年4月1日ではなくて早めると。例えば、令和7年の遅くても9月議会議決というようなことを見据えて行動するというふうな方向で行ったらどうかと思うのだが、どうか。
	澤委員（副議長）	小委員会が出されてる29万円というのがあるだろう。これは変わらないのか。

	田中克美委員長	変わらない。算定方法とその計算の結果は変わらない。それは全然変えない。皆合意してるから。
	澤委員（副議長）	今の案では令和8年4月に一括で全部変更になってるが、逆に言ったら令和7年の4月で第1段階上げて、令和8年で第2段階という方法もできるんじゃないかと思うが。
	田中克美委員長	それは無理だ。
	足立委員	令和8年4月は無いことにしようという話だ。
	澤委員（副議長）	それもできるんじゃないかなって。
	田中克美委員長	それは無理だ。意見交換会ができない。
	澤委員（副議長）	もう一ついいか。この変更案で、意見交換会が4か月組んである。4か月も意見交換会するのか。
	田中克美委員長	だから、団体の皆さんとの調整がこちらの思惑通りいかないというのがよく分かったので、ということだ。
	柳委員	田中委員長、その団体との交渉も急ぐということも注文つけさせてもらうのはもうやむを得ない時期だと思うし、きょうはこの令和8年4月を当初の令和7年の4月に極力近づけるということで、努力をするということで収めよう。最低でも9月の定例会の議決とかじゃなくて、当初の、、、。
	田中克美委員長	1年延期が不動ではないということだ。
	足立委員	そしたら収まる。
	田中克美委員長	だから収めるためにさっき言った。
	宮本副委員長	短縮するということで。
	柳委員	田中委員長の心は皆よく分かった上でこうして言ってるということはしっかりと受け止めてほしい。
	田中克美委員長	それでいいか。
	皆	はい。
	田中克美委員長	それで一つ皆さんにお願いだ。各々住んでおられる地区の自治会に、自治会主催の会を持つことを働きかけてもらえないか。参加人数は問わない。自治会の役員だけでもいい。
	川口委員	働きかけるが、蒲生地区の自治会でも2月までには総会を開くが、多分どこも1月2月には開くと思う。それまでには区長会もあって、蒲生地区も日程は決まってるが、もし仮に自治会長と相談する中で、この12人全員が参加されるかどうかというところもある。区長会やなんかに12人も来られたりすると、なかなか喋りにくいと思うので、、、。
	田中克美委員長	皆来てくれというところは皆行くし、それは規模を相談してほしい。
	川口委員	そこはこだわらなくてもいいということで話をすすめさせてもらっていいか。
	田中克美委員長	はい。 それと、開催の予定が決まれば、当日資料を配るのではなくて事前にお渡しする。日程が決まったら、調整もいるかもしれないので事務局に報告してほしい。いいか。
	澤委員（副議長）	12月が年度末で各種団体が1月に総会を開くはずだ。そのスケジュールを拾い出して、、、。
	田中克美委員長	自治会はそれぞれの皆さんでお願いする。
	澤委員（副議長）	自治会はね。婦人会とかPTAとか、、、。

	田中克美委員長	それはもう既に動いているので。自治会は皆さんにお願い するということで。 それから、両常任委員会の正副委員長さんは後で、簡単に 打ち合わせしたいことがあるので、残ってほしい。5分で済 む。他にはいいか。
	皆	なし。
閉会	田中克美委員長	以上で閉会する。 *起立、礼 13時52分閉会

上記のとおり会議の次第を記録し
これを証するため、ここに署名する

議会活動の在り方検討特別委員会委員長

田中克美